

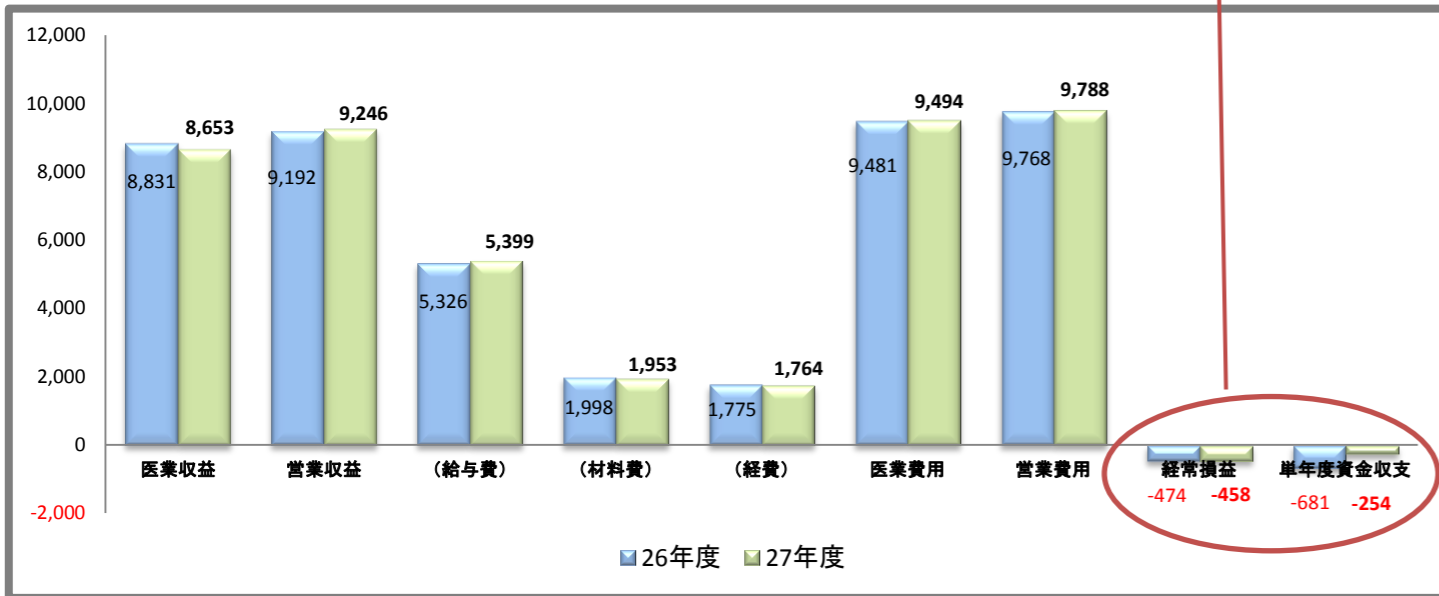
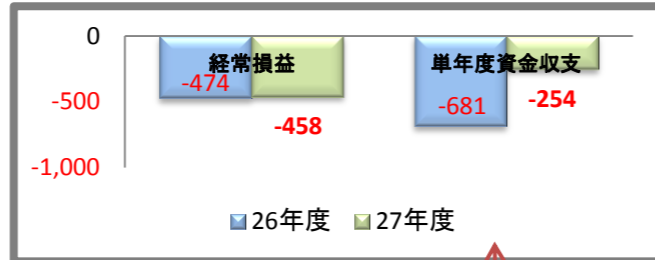
【損益計算書】

《財務諸表 P3》

(単位:百万円)

	26年度	27年度	増減		26年度	27年度	増減
営業収益	9,192	9,246	55	営業費用	9,768	9,788	20
医業収益	8,831	8,653	△ 178	医業費用	9,480	9,494	13
(うち入院収益)	5,657	5,488	△ 169	(うち給与費)	5,326	5,399	74
(うち外来収益)	2,853	2,853	0	(うち材料費)	1,998	1,953	△ 44
運営費負担金収益	248	512	264	(うち経費)	1,775	1,764	△ 12
資産見返戻入	72	54	△ 18	(うち減価償却費)	337	327	△ 11
その他	40	27	△ 13	(うちその他)	44	50	6
				一般管理費	288	295	7
営業外収益	186	210	24	営業外費用	83	126	42
運営費負担金収益	22	17	△ 6	財務費用	22	21	△ 0
運営費交付金収益	61	104	43	(うち長期/移行前利息)	20	20	0
その他	102	89	△ 13	(うちその他利息)	2	2	△ 0
				その他	61	104	43
収益 合計	9,377	9,456	79	費用 合計	9,851	9,914	62
				臨時損益	0	△ 0	△ 0

	26年度	27年度	増減
営業損失	△ 577	△ 542	35
経常損失	△ 474	△ 458	16
当期総損失	△ 474	△ 458	16



【前年対比】

医業収益: 178百万円減収(うち169百万円が入院収益の減収)
 営業収益: 55百万円増収(運営費負担金収益化分264百万円増加が主要因)

医業費用: 13百万円増加
 給与費 74百万円 (法定福利費及び賃金にて増加)
 材料費 △44百万円 (入院収益減収相当分)
 経費 △12百万円 (委託費88百万円増、光熱水費・修繕費・寄付金等にて106百万円等減)
 営業費用: 20百万円増加(医業費用の増加に加え、一般管理費内の給与費増によるもの)

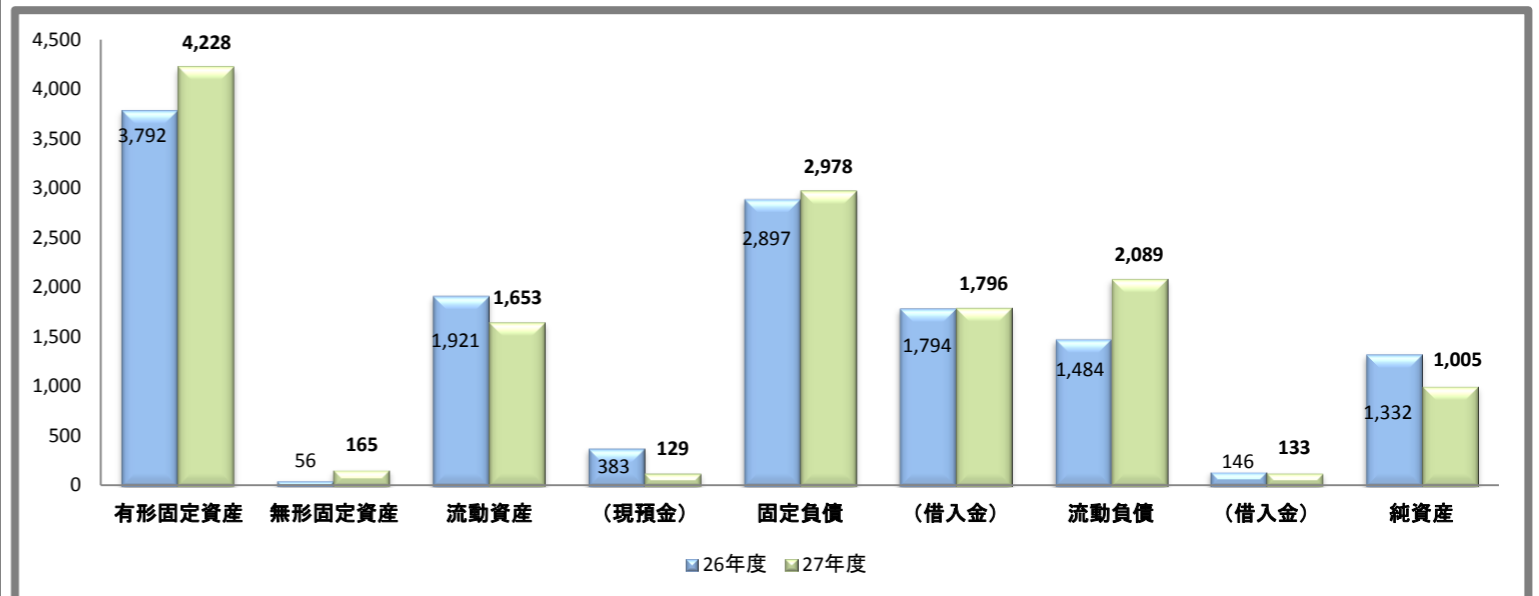
* 各数値につきましては、百万円単位の都合上、合計・内訳が一致しない場合があります

【貸借対照表】

《財務諸表 P1~2》

(単位:百万円)

	26年度	27年度	増減		26年度	27年度	増減
固定資産	3,792	4,418	626	固定負債	2,897	2,978	81
土地	1,981	1,991	10	資産見返負債	26	53	27
建物等	694	666	△ 28	借入金	1,794	1,796	2
器械備品	821	786	△ 35	その他	1,077	1,129	51
建設仮勘定	208	781	572	流動負債	1,484	2,089	605
その他	5	4	△ 1	借入金(一年内返済)	146	133	△ 13
無形固定資産	56	165	108	未払金	795	1,311	516
投資その他の資産	26	25	△ 1	未払費用	52	56	3
流動資産	1,921	1,653	△ 268	その他	491	589	98
現・預金	383	129	△ 254	負債合計	4,381	5,066	685
未収金	1,406	1,400	△ 6	資本金	1,202	1,230	28
(うち医業未収金)	1,374	1,394	20	資本剰余金	840	944	103
(うちその他未収金)	32	6	△ 26	利益剰余金(繰越欠損金)	△ 710	△ 1,169	△ 458
その他	132	124	△ 8	純資産合計	1,332	1,005	△ 327
資産合計	5,713	6,072	358	負債・純資産合計	5,713	6,072	358



【前年対比】

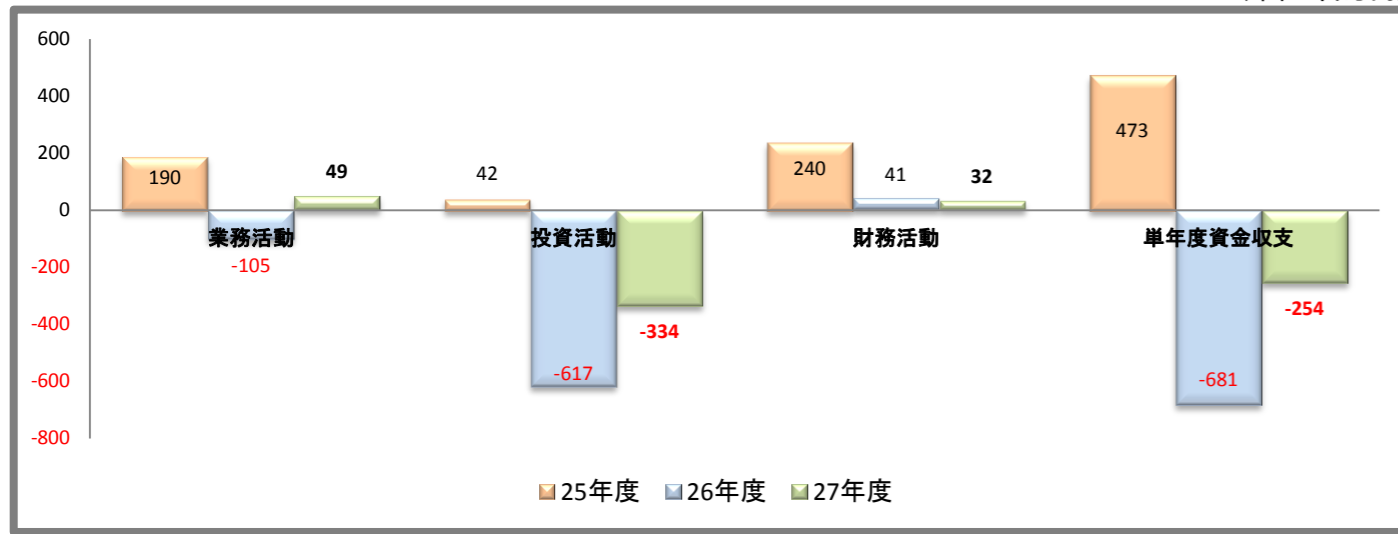
固定資産: 626百万円増(建設仮勘定572百万円余、器械備品206百万円余、ソフトウェア154百万円他)
 流動資産: 268百万円減(現預金△254百万円余が主要因)

固定負債: 81百万円増(退職給付引当金積立額の増加等)
 流動負債: 605百万円増
 (新病院建設費用457百万円余を未払計上、財源未確定資金113百万円余を仮受金計上)

純資産: 327百万円減(繰越欠損金△458百万円余が主要因)

【キャッシュフロー計算書】

《財務諸表 P4》
(単位:百万円)



【キャッシュフローの種類】

- ①業務活動によるCF: 通常業務(本業)における収入・支出取引における資金の流れを記載
- ②投資活動によるCF: 固定資産の購入・売却等、業務活動の基礎を成すものについての資金の流れを記載
- ③財務活動によるCF: 資本の増減及び借入金が増減等による資金の流れを記載

【27年度】

業務活動CF: 医業収入+運営費負担金等で92.9億円余の収入に対し、給与・材料・経費等92.4億円余の支出
 投資活動CF: 基金及び運営費負担金(資産)の収入1.8億円余に対し、固定資産購入へ5.2億円余の支出
 財務活動CF: 借入金及び出資による収入2.8億円余に対し、償還金及びリース債務の返済に2.4億円余の支出
 単年度資金: 単年度資金収支は△2.5億円余となりますが、26年度未払金等を考慮後は1.8億円余の減少

【キャッシュフローのタイプ】

- ① 業務+、投資-、財務- 医業で十分な収入を得て、その資金にて投資、返済を行う状況
- ② 業務+、投資-、財務+ 医業の収入及び借入金による資金にて投資を行う状況
- ③ 業務+、投資+、財務- 医業の収入及び不要財産等を売却して得た資金にて返済をする状況
- ④ 業務+、投資+、財務+ 医業収入を得て、資産も売却し、さらに借入をして新事業等(資産)に投資する状況
- ⑤ 業務-、投資-、財務+ 医業での収入が不足し、借入で資金を集めて投資に回す状況
- ⑥ 業務-、投資+、財務- 医業での収入が不足し、資産を売却して得た資金にて返済を行う状況
- ⑦ 業務-、投資+、財務+ 医業での収入が不足し、資産を売却するも資金不足となり、借入により対応する状況
- ⑧ 業務-、投資-、財務- 医業での収入が不足し、過去の累積資金により投資及び返済を行う状況

* 27年度は② (26年度⑤、25年度④)

【その他書類】

《財務諸表 P5~P26》
《決算報告書 P1》

I)財務諸表P5 損失の処理に関する書類

27年度の当期総損失▲458百万円余と、前期繰越欠損金▲710百万円余を合わせた▲1,168 百万円余を翌期に繰り越す書類。

II)財務諸表P6 行政サービス実施コスト計算書

27年度1,180百万円余に対し、昨年度は922百万円余であり258百万円余増加。増加要因は医業収益の悪化による影響が大きい。

III)財務諸表P7~9 注記

27年度法人の会計方針に変更無し。
 27年度重要な債務負担行為として新病院建設費用を記載。
 27年度重要な後発事象に該当する記載事項は無し。

IV)財務諸表P11~26 付属明細書

貸借対照表、損益計算書等の記載事項に対する明細を添付。

V)平成27年度 決算報告書

予算(税込)と決算(税込)との差額を表示。
 予算対比のため見返戻入、減価償却費等の非資金取引は含まず。